

海上保安庁で活躍中！

平成28年3月卒業 水谷 悠馬

私は、平成28年3月に愛知県立半田東高校を卒業しました。

高校在学中は野球部に所属していました。3年生となり進学先を調べていると、たまたま公務員試験を見つけました。進路の選択しとして大学受験だけでなく、周囲で大学以外にも試験を受けるという話もよく耳にしたので、自分も受験することに決めました。そんな中、海上保安庁に興味を持ち調べていると、海上保安庁だけで様々な仕事がありとても驚きました。その中でも一番興味を持ったのは、今勤めている海洋情報部です。

高校卒業後、私は海上保安官になるため、海上保安学校で1年間いろんなことを学びました。その中でも5.5kmを泳いだ遠泳訓練は皆で励ましあいながら泳ぎきったのを思い出します。

現在私は、海図に関わる仕事をしています。具体的には海の測量（水深の調査など）です。海図とは「海の地図」と呼ばれることもありますが、船が航行する上で欠かせないものです。その海図に、自分たちが調査した水深が反映されます。海図は日本だけでなく、海外から来る船も使用するので、自分の仕事にやりがいを感じています。

皆様も、これから将来の進路を決める上で、少しでも興味をもっていただけたなら、ぜひ海上保安官を目指してください。



測量中の水谷官

問い合わせ先：第四管区海上保安本部総務部人事課
052-661-1611（代表電話）



海上保安庁

海上保安庁で活躍中！

平成29年3月卒業 小田 沙樹

私は、平成29年3月に名古屋市立緑高等学校を卒業後、公務員専門学校に進学し、平成29年10月に海上保安庁へ入庁しました。

私が当庁に入庁した理由は、私の大好きな海に関わる職且つ海を美しく保ち未来につなげたかったからです。

皆さんの海上保安庁のイメージは「海猿」という映画の潜水士による人命救助だと思います。当庁の職務内容はそれだけではありません。皆さんは海上保安庁が「海の警察・消防」といわれているのはご存知でしょうか。海で犯罪が起これば当庁の職員が捜査し、火災や事故が起これば当庁の職員が救助対応にあたります。その他、船を運航する航海士、船のエンジンを扱う機関士、船での生活で料理や事務仕事を行う主計士、ヘリコプターを操縦する飛行士、ヘリコプターの整備を行う整備士、まだまだここでは紹介しきれないほどの職種があります。

皆さんの心には、自分の将来が見えず不安や焦りがあると思います。それは誰しもが必ず一度は経験することで、私自身もそういう時期がありました。そして今では、私は海の世界を守るために環境防災の道を目指して日々の職務を行っています。

当庁にはさまざまな職務内容がありますから、将来何がしたいのか、何になりたいのか、当庁に入庁し自分の未来図を作成してみたいか、いかがでしょうか。



問い合わせ先：第四管区海上保安本部総務部人事課
052-661-1611（代表電話）



海上保安庁

海上保安庁で活躍中！

～卒業生から在校生の皆様へ～

平成29年3月卒業 高須 南美

私は、平成29年3月に斐太高校を卒業し、その年の4月に海上保安庁に入庁しました。

海のない岐阜県で育ったので、海への憧れと、公安系の職業に興味があったことから、海上保安官という職業を選びました。

海上保安学校では、船内生活に則った寮生活を送りながら、海や船の知識を身につけるための勉強をします。勉強だけでなく、行軍や遠泳、早朝訓練など、多くの訓練があります。厳しく辛いと感じることもありましたが、全国から集まった同期と励ましあいながら乗り越えることができました。

学校卒業後は、巡視船に乗り、海難救助や海上における犯罪捜査を主としてきました。私の乗船している船は、火災や有害危険物質の事案に対応できる船なので、それらに関連する特殊な訓練も行います。巡視船での経験は初めてのことばかりで、毎日が充実しています。

自分の動かす船からみる大きな海と広い空は格別です。ぜひ一緒に働きましょう。



要救助者搬送訓練中の高須官

問い合わせ先：第四管区海上保安本部総務部人事課
052-661-1611（代表電話）

海上保安官として日本の海を守る！



平成27年3月卒業

佐々木 祐樹 (22歳)

平成27年3月に三谷水産高校を卒業した佐々木祐樹です。

現在、私は、四日市海上保安部の巡視艇「いせぎく」の乗組員として、海を守る仕事をしています。

私が海上保安庁に入ったきっかけは、高校卒業後に民間企業に就職したものの、高校3年間で慣れ親しんだ海で仕事がしたいという思いが募るとともに、その海は掛け替えのないもので、誰かが守って行かなければならないと思ったことです。そこで、海を守る海上保安官になることを決意しました。

海上保安官になるには、いくつか方法がありますが、私は京都府舞鶴市にある海上保安学校に入学し、1年間、海の警察官でもある海上保安官として必要な刑法、刑事訴訟法などの法令知識を学びました。また海上保安学校は全寮制であり、協調性を養う必要がある一方で、5.5kmを泳ぎきる遠泳訓練や雪が降る中での早朝訓練など、厳しい訓練を通じて気力、体力の練成に励みました。

衣食住を共にする先輩、同期、後輩とともに厳しい訓練を乗り越えた時には、その達成感や喜びを分かち合うことができ、その仲間との絆は、保安学校を卒業した今でも続いています。

現在は、巡視艇の乗組員として、法令違反の取締りや海難救助等の業務に携わり、日々、達成感を感じています。

皆様も、これから進路を決めるうえで、人を救いたい、海を守りたいと感じたら、海上保安官を目指すことをお勧めします。

目指している人へ向けてのアドバイスとして、海上保安学校の採用試験には、一般教養と呼ばれる文書読解、数的処理等の選択式の科目があるので、採用試験の突破には、三谷水産高校専門課程の学習に加え、一般教養を勉強する時間を確保できるかが鍵になってくると思います。

問い合わせ先：第四管区海上保安本部総務部人事課
052-661-1611（代表電話）



海上保安庁

海上保安庁で活躍中！

平成30年3月卒業 渡邊 大岳

私は平成30年3月に津島高校を卒業し、同年の4月に海上保安学校へ入校しました。高校時代は水泳部で、成績は残せませんでしたでしたが楽しく部活をしていました。

私は昔から海と船が好きで、船乗りに憧れていました。高校卒業後の進路を決める時期になり、海上自衛隊への入隊とも悩んだ結果、警察官の仕事にも興味があったことから、海上保安官という職を志しました。

最初こそ海上保安学校における集団での完全寮生活や、18歳にして国家公務員という身分になることに困惑していましたが、同じ部屋の先輩や同期たちは本当に気さくな人ばかりで、喜怒哀楽を共にし、楽しい寮生活を送ることができました。

海上保安学校で船や海に関する教育訓練と、特別司法警察職員としての教育を1年間受けた後、私は熊野灘とその周辺を担当する第四管区の尾鷲海上保安部に配属になり、現在は巡視艇「みえかぜ」に乗って職務に当たっています。

配属されてから、貨物船からの油の流出事故や船の衝突事故、密漁捜査や安全指導など様々な業務に対応しました。尾鷲で働く若者として、中日新聞から取材を受けたこともあります。

これまでで一番印象に残っているのは、海中転落して漂流した釣り人を3時間の捜索の末救助できたことです。配属後間もない私は無力に近い存在でしたが、初めての人命救助が成功したことは非常に嬉しく思っています。

私は写真やカメラに興味があるので、今後はそうした知識を生かすことが出来る鑑識関係の職種を目指し、日々努力して技術の向上に励んでいきます。

海が好き！船が好き！そして、人のために働きたい！…という人は是非、海上保安官を希望してください。お待ちしております！

↓要救助者の吊り降ろし訓練を行う筆者



→中日新聞に掲載されたときの筆者



海上保安庁

問い合わせ先：第四管区海上保安本部総務部人事課
052-661-1611（代表電話）

海上保安庁で活躍中！

平成28年3月卒業 金澤 明華

私は、平成28年3月に三谷水産高等学校を卒業後、公務員になるため、大原公務員専門学校へ進学しました。

公務員といっても、幅広い分野において様々な職種があり、私は、ハンドボール部で培った体力と根性を生かせる海上保安庁を希望し、採用試験に合格した後、海上保安学校に入校しました。

海上保安官は巡視船艇に乗って勤務することがあり、船の仕組みや海上ルールを覚える必要があるため、海上保安学校で1年間、教育を受けました。

海上保安学校の厳しい訓練でもハンドボール部で鍛えた体力で、やり遂げることができました。

学校卒業後は、巡視艇しまなみの乗組員として、伊良湖水道航路の航路しょう戒業務、密漁取締り及び海難救助等の業務にあたり、愛知県を含む海上の治安維持と安全を守っています。

皆様も、これから将来の進路を決める上で、人のために仕事をしたいと感じたら、公務員（海上保安官）を目指してください。



船の機関整備中の金澤官



船上からの放水訓練中の金澤官

問い合わせ先：第四管区海上保安本部総務部人事課
052-661-1611（代表電話）

海上保安庁で活躍中！

平成29年3月卒業 盛 瑞貴

私は、平成29年3月に春日井高等学校を卒業後、同年の4月に海上保安学校に入学しました。

学生時代はサッカー部に所属し、日々部活に励んでいました。

私は学生時代から公安の仕事に就きたいと考えていたので、「海の警察、海の消防」と称される海上保安官にとっても惹かれ、海上保安庁に入庁しようと思いました。

海上保安官になるには、海上保安大学校（4年間）又は海上保安学校（1年間乃至2年間）に入学し、寮生活をしながらたくさんの事を学ばなければなりません。

私は海上保安学校に入学し、同期と切磋琢磨しながら海や船に関する知識や法律の勉強、体力練成等、様々な事を学びました。

海上保安学校を卒業後、私は豊橋市にある三河海上保安署所属の巡視艇ひめかぜに配属となりました。

巡視艇ひめかぜでは、海難救助や違反の取締り等、多岐に渡って業務を行い、日々、日本の海で仕事をしています。

この短い文章の中では海上保安庁の全てを伝えることは出来ませんが、海上保安官はとてもしっかりとした仕事です。

少しでも興味を持つ方がいれば、将来の自分の仕事として海上保安庁への入庁を考えてみてはいかがでしょうか。



ライフゼム（空気呼吸器）を使用した要救助者搬出訓練中の盛官

問い合わせ先：第四管区海上保安本部総務部人事課
052-661-1611（代表電話）



海上保安庁

海上保安庁で活躍中！

平成28年3月卒業 伊西口 豪

私は平成28年3月に星城高校を卒業し、専門学校に2年間通い、平成30年の4月に海上保安学校へ入校しました。

高校時代は部活には入らず学校を休みがち、そんな高校生活を送っていました。

高校卒業間近に公務員になりたいという軽い気持ちから公務員専門学校入学し2年後海上保安学校に入校致しました。

最初こそ海上保安学校における集団での完全寮生活や勉強面、生活面共に戸惑い、大変に感じましたが、同じ部屋の先輩や同期たちに支えられ、喜怒哀楽を共にし、楽しい寮生活を送りながら勉強、訓練共に真剣に取り組むことができました。

海上保安学校で船や海に関する教育訓練と、特別司法警察職員としての教育を1年間受けた後、知多半島の先から吉良周辺を担当する第四管区の衣浦海上保安署に配属となり、現在は巡視艇「きぬかぜ」に乗って職務に当たっています。

配属されてからは、配属初日の夜に船が乗揚げたという通報を受け戸惑いながら事故現場へ向かったのを覚えています。これはいつどこで呼び出しがあるか分からず、すぐに出動しなければならない職業であることを痛感した出来事でした。

これまでで一番印象に残っていることは、プレジャーボートが燃えているという通報で私たちが巡視艇きぬかぜで消火活動を行ったことです。この時は、プレジャーボートに乗っていた人は既に助けられていた後でしたが、もし燃えている船内に人が残っていたらと考えると恐怖を感じました。

私は衣浦海上保安署に配属され、日々、職務に従事する中で刑事業務に興味を持ち、今後は刑事業務知識、技術のスキルアップを目指し、日々努力して業務に取り組めます。

海が好き！船が好き！そして、人のために働きたい！という人は是非、海上保安官を希望してください。お待ちしております！

巡視艇きぬかぜ



巡視艇きぬかぜを操船する伊西口



海上保安庁

問い合わせ先：第四管区海上保安本部総務部人事課
052-661-1611（代表電話）